

## 会議開催記録

名 称	令和2年度第1回会津美里町地域創生・人口減少対策有識者会議
開催日時	令和2年6月30日(火) 午前10時から午後0時20分まで
開催場所	会津美里町役場 大会議室
出席者	<p>【委員】 布施委員、鈴木委員、石光委員、斎藤委員、佐藤委員、星委員 柏倉委員、笠間委員、塚原委員、鈴木委員、長谷川委員(名簿順)</p> <p>【事務局】 政策財政課 猪俣課長補佐、秋山主査</p>
議 題	<p>1. 令和元年度地方創生推進交付金事業の効果検証について</p> <p>(1) 外国人観光客誘致のためのデジタルDMO推進事業</p> <p>(2) 地域商社を中心とした會美ブランド活性化事業</p> <p>(3) 「暮らしたいを創る」異なる地域特性を結びつけるモデル創出事業</p> <p>2. 令和2年度地方創生推進交付金事業の取組について</p> <p>(1) 外国人観光客誘致のためのデジタルDMO推進事業</p> <p>(2) 「暮らしたいを創る」異なる地域特性を結びつけるモデル創出事業</p>
資料の名称	令和2年度第1回会津美里町地域創生・人口減少対策有識者会議資料一式
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>委嘱状交付【代表 布施委員】</p> <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ【渡部町長】</p> <p>3 座長選出【石光委員を選出】</p> <p>4 会議の概要説明</p> <p>(座長) 議事に入ります。事務局より会議の概要説明をお願いします。</p> <p>(事務局)【資料1に基づき説明】</p> <p>(座長) 事務局からの説明に対して、質問はありませんか。</p> <p>(委員) なし</p> <p>5 協議事項</p> <p>(座長) 協議事項に入ります。令和元年度外国人観光客誘致のためのデジタルDMO推進事業について説明をお願いします。</p> <p>(担当課：産業振興課)【資料2-1に基づき説明】</p> <p>(座長) 只今の説明に対して、意見、質問はありませんか。</p>	

(委員) K P I のサイトページビュー数が指標値の3割にも満たないところで、外国人観光客数とか宿泊客数が400%を超えているという結果は数字だけ見ると凄いが、果たしてこれはDMOの効果といえるのか、微妙なところではないか。

(担当課) K P I については申請の際に設定した指標で5年間使っていくというものである。確かにページビュー数が少ないのですが、予算の縮小から広告費にあまり回せなかったことから数字的には苦戦している。

(座長) 結果が出ていれば良いというのであればいいが、新たに参加したタイへのキャンペーンが未だ行われていないことはマイナス要因であるが、訪問者や宿泊者数は増えている。アウトカムが出ているという意味では結果オーライではある。

(委員) 現在コロナウイルスが今年収束するか来年収束するのか分からない中で、今後の方針で取組を発展させとあるが、こういう状況の中で外国人誘致を発展させていいのかどうか。

また、アフターコロナにおける観光ニーズと観光スタイルの変化とあるが、来る方の変化もそうだが、受け入れる側も変化させないといけない。落ち着いた後の安心・安全対策をやっていかないと、外国人の方に選んでいただけない。

(担当課) そこは重要な点ですので、実施市町村でしっかり協議して今後進めていく。

(座長) どの外国から人を受け入れるかということは国が決めることで、決まったからには他の観光地に出遅れないで頑張るといふこと、国の方針を待ちましょう。国が認めていないのに会津だけ受け入れるということはある得ないわけで、ただし国が認めたら会津だけ拒否するという事はないでしょう。

最近、会津への修学旅行が増えているとよく聞きますが、福島県は原発以来の風評被害で旅行客が減少していますので、会津は感染者が確認されていないということで、逆転のチャンスかもしれません。

(委員) 美里にとってのメリットというのは、観光客が美里に流れてきているのか。会津地域に観光客が来ているのは感じるが、美里に実際に住んでいてメリットを感じない。外国人の方に合うわけでもなく、たまにいらっしゃることはあるが。

受け入れ側の意識を高めていかなければいけない。例えば宗教上食べてはいけないものとか、いろいろなところで受け皿がないと、基本的な受け入れ側の姿勢であるとか、そういったところで自分たちがもうちょっと意識を持ってやっていくと、生きた伝統を感じていただき町に入っていただける。

昨年、若松市内でタイから来た人と交流して、今でもインスタやってメッセージのやり取りをやっていますが、インターネットを活用して今は行けないが行きたくなるような欲求を掻き立てるアクション、今はそのような仕掛けが必要ではないか。

(担当課) 外国観光客 91,341 人のうち美里は 3,139 人、宿泊は 41,980 人のうち 102 人と多くはない。

受け入れに関しての取り組みについては、どんな外国人が会津に来ているかというテーマの講演や、語学のレッスン、外国人を受け入れている施設の方によるセミナー、実際に外国人に接客してみようということでの研修会を行いました。食に関してはまだ対応していない。

今年のプロモーションとして観光コンテンツを追加した。来年度についても観光コンテンツを増やしたりして外国人の方に情報を発信していきたい。

(委員) 自走化に向けた広域的な取り組みを発展させるとあるが、デジタルDMOの最終的な自走とは、実施自治体の中ではどのように捉えているのか。

(担当課) このサイトを使って体験などを含めてオンライン予約などが取れるようになれば、参加する方々から代金をいただいて、最終的には自走していきたいという考え方である。

(委員) いままでのターゲット層とKPIを上げるために、これからターゲット層に想定しているところがあるのか。

(担当課) 令和元年度については、タイ、台湾、オーストラリア、フランスの4か国であったが、今年度はあまり効果がなかったフランスを外し、タイ、台湾、オーストラリアの3か国を最初のターゲットとしたいと考えている。コロナがいつまでも終息しないような国にはプロモーションを行っても成果は出ないので、そこについては臨機応変に対応していく。

(座長) 他にございませんか。活発に沢山のご意見をいただきありがとうございました。

有識者会議としての事業評価を行います。KPI達成に有効であったか、有効でなかったかの2段階評価であります。

本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であったとしたいが、賛同される方は挙手願いたい。

#### 《挙手全員》

(座長) なお、只今の協議において皆様から活発にいただいたご意見については、事務局と調整して有識者会議の意見として残しますので、お任せいただきたい。

次に、令和2年度外国人観光客誘致のためのデジタルDMO推進事業の取り組み内容について説明をお願いします。

(担当課：産業振興課) 【資料3-1に基づき説明】

(座長) 只今の説明に対して、意見、質問はありませんか。

かなり具体的なSNS使った広告とか、追加の提案もたくさんあった。

(委員) 会津美里町として町単独で民間事業者を対象としてワークショップや意見交換会を開催する予定はあるか。また、手数料収入について、町内の飲食店とかオンライン登録していただいて参加者を募集するための町の取り組みは。

(担当課) 町単独でのワークショップは考えていない、広域でのワークショップを考えており、テーマはこれから決定する。また、インターネット予約について、宿泊や飲食とかオンライン予約できるところが美里には少ないが、「VISIT AIZU」から予約できるシステムを構築して手数料収入としたい。

(委員) この計画は1月か2月に出されていると思うが、3月以降のコロナウイルスの関係を踏まえて、変えたいところ、協議しなければならないところは。

(担当課) コロナの終息状況をみながら、ターゲット国を改めて設定していきたい。

(座長) 次に、令和元年度 地域商社を中心とした會美ブランド活性化事業の効果検証について説明をお願いします。

(担当課：産業振興課) 【資料2-2に基づき説明】

(座長) 只今の説明に対して、意見、質問はありますか。

(委員) 売上高、販売個数が満たない、価格設定に問題があるという話があったが、原価率が高いのか、利益率を高く設定しているとか、どこに問題があるのか。

(担当課) ピンピンころりカレーが主力商品になっているが700円で販売している。薬用エンジンを使用している商品は原価が高くなってしまい販売価格が他社商品に比べて高く売れなかったと分析している。

(委員) 今後、商品の販売をどのように行っていくのか。

(担当課) ECサイト販売をメインに考えている。

(座長) ふるさと納税の景品に入っていないのか。

(担当課) それについては、現在考えているところ。

(座長) 注目度が高いと思う。このECサイトにたどり着くのはなかなかですから。やっているとところに任せるのは筋だが、役場でやっているとところ全国の人は注目していますから、そこに載せる。地方商社に任せるばかりでなく、ふるさとチョイスに載せるとか他の企画をやっていないとだめなのではないか。

(座長) それでは、有識者会議としての事業評価を行います。本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であったとしたいが、賛同される方は挙手願いたい。

#### 《挙手全員》

(座長) 次に、令和元年度「暮らしたいを創る」異なる地域特性を結びつけるモデル創出事業の効果検証について説明をお願いします。

(担当課：政策財政課) 【資料2-3に基づき説明】

(座長) 只今の説明に対し、質問、意見ありませんか。

(委員) ゲストハウス小浅は、もう宿泊は出来るのか。

(担当課) 来年度にはオープンになるのでは、と考えている。

(委員) 凄くいい企画だと思いました。視察に行った感想と、現在の美里でこの事業をやろうと思うとどのような課題あるのか。

(担当課) 私も研修に行ったが、取り分け民間の人が非常に元気でした。波佐見町に行ったときは、有田焼界隈の大きな商社である西海陶器さんが頭になって、若い人たちをなるべく登用して、お金を出して、行政はほぼノータッチの状態で行われていた。上手くいっている地域というのは民間の方の盛り上がり非常に大切だと感じた。我々も行政として環境整備、民間の方々がよりやり易く、より参加できるような形で事業展開したい。

(委員) 非常に面白い取り組みだと思う。民間の方たちが自分達でやるのが一つの重要なカギになると思うが、役場が環境整備をしてというところで、「まちやど」のコンセプトとして地域全体を一つの宿と見立てるという話ですが、やっていくには地域住民の協力ややる気が重要で基盤になると思うが、地域の人達に向けた、説明会やワークショップ等は考えているか。

(担当課) 今年3月に実施する予定であった「まちやどシンポジウム」はそういう形でやりたいと考えていた。地域住民全員の賛同を得るのは非常に難しく、「それを試みるとどうしても失敗してしまう」と先進地の方々からも聞いていましたので、これはモデル創出事業ですので、事業に参画しているプレーヤーの方が成功して儲けていただいて、賑わいが創られて説得力

が出て、我々の方からプロモーションして町に浸透していけば良いと考えている。

(委員) まちのコンシェルジュとは、どういう方になるのか。

(担当課) ゲストハウスのカウンターにいるような人で、今展開している小浅ですと本郷焼物組合の方がやったださる話になっている。ゲストハウスに訪れた方に何処でご飯を食べたらいいか、何処で体験できるのかなどを教える。

この「まち」は会津美里町の町ではなく小さいエリア、ここでは瀬戸町エリアを「まち」といいますが、焼き物組合の方は瀬戸町の事情に大変詳しいので、面白い体験や食事、町の歴史や文化などを説明できる。

(委員) 現時点で、事業計画はいつぐらいにスタートする予定なのか。また、どれぐらいの参加希望を予定しているのか、ゲストハウスの数や協力いただける飲食店とか、どのような状況なのか。

(担当課) 事業の進み具合として、民間の方々に事業をやっていただくということで進捗を話すことは難しい。来年度にはオープンさせたいという話にはなっているが、いつまでこれをして下さいとは言えないので、先の話として具体的には進んでいない。将来的な展開としては、小浅たばこ店をゲストハウスとして開業したときのベッド数は限られているわけで、小浅たばこ店にロビー機能を持たせ、他の空き家をリノベーションしてゲストハウスや飲食店になっていく、というようなビジョンを描いている。

(委員) スタートする段階で宿泊施設だけあってもだめ、飲食店や体験型の窯元とかいろいろなところが同時にスタートできないとだめだと思う、調整は町の方で担う必要がある。

(担当課) できるだけ民間の方が前に立って、町はバックアップとしてワークショップや説明会等を企画し、事業運営は民間の方を主体に進めていきたい。

(座長) 新鶴のワイナリーや瀬戸町の窯元と資源としては素晴らしいものがあり、それを武器として動き出すようにと、この企画で実施していくというもの。それでは、有識者会議としての事業評価を行います。本事業が地方版総合戦略のK P I 達成に有効であったとしたいが、賛同される方は挙手願いたい。

#### 《挙手全員》

(座長) 次に、令和2年度「暮らしたいを創る」異なる地域特性を結びつけるモデル創出事業の取り組み内容について担当課より説明をお願いします。

(担当課) 【資料3-2に基づき説明】

(座長) 只今の説明に対して、意見、質問はありませんか。

(委員) 若い人をターゲットした「ほのぼの旅する会津美里」、段々と子育てをする世代だと思えますので子供と一緒に体験できるものも取り入れたらいいのでは。親子で遊ぶ場所が決まっているので、親子で一緒に参加して地域を盛り上げていくことも必要なのではと思う。

(担当課) お子さんを連れた家族が来て子供が楽しんで家族が喜んでいる姿を見たとき、町民とか事業者の方も非常にうれしい体験ができるのではないかと思いますので、そのようなことを進めていきたい。

(座長) 以上で協議案件は全て終了しました。

(司会) 本日の目的は終了したので会議を閉会します。

